

平成 29 年 6 月 22 日

各 位

マネックス証券株式会社  
代表取締役社長 勝屋敏彦

## 「お客様本位の業務運営に関する方針」の宣言について

マネックス証券株式会社（以下「マネックス証券」）は、金融庁が 2017 年 3 月に公表した「顧客本位の業務運営に関する原則」の採択にあわせて、「お客様本位の業務運営に関する方針」を策定し、本日、宣言しましたのでお知らせいたします。

マネックス証券は、日本において株式委託手数料が完全自由化された 1999 年に営業を開始してから今日まで、常に日本の個人投資家に最善・最良の金融サービスを提供することに努めてまいりました。

具体的な取り組みとして、以下をはじめとした、個人投資家の利益を考えた商品・サービスを率先して数多く導入・提供してまいりました。

- ・販売手数料無料（ノーロード）の投資信託
- ・信託報酬率（税抜）が 1%以下の投資信託
- ・個人向け投資一任運用サービス世界最大手である米国運用会社ザ・バンガード・グループ・インクの知見やノウハウを活用したマネックス・セゾン・バンガード投資顧問株式会社による投資一任運用（ラップ）サービス「マネラップ（MSV LIFE）」

マネックス証券の「お客様本意の業務運営に関する方針」の概略は以下のとおりです。

- ・お客様の最善の利益の追求
- ・お客様との利益相反の適切な管理
- ・手数料等の明確化
- ・お客様の立場に立った、重要な情報のわかりやすい提供
- ・お客様にふさわしいサービスの提供
- ・マネックス証券役職員に対する適切な動機づけの枠組み等

本方針の詳細につきましては、別添資料およびマネックス証券ウェブサイト (<https://www.monex.co.jp/>) をご覧ください。

マネックス証券は引き続き、お客様の利益を考えた業務運営を通じて、お客様の資産増加に貢献することを目指してまいります。

以 上

### 【マネックス証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先引協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

マネックス証券（以下「当社」と言います。）は、日本において株式委託手数料が完全自由化された1999年10月1日に営業を開始し、同日当社ウェブサイト以下に以下の文言を掲げました。

「マネックスは、全く新しいコンセプトの金融サービスを提供します。  
既存概念は一切とらわれず、我々にとって何が最良の金融サービスかを真剣に追求します。  
インターネットの恩恵を最大限享受し、もう目の前まで来ているネットワーク時代をリードしていきます。  
そして何より重要なことは、自分たちの手により自分たちの生活に欠かせないベーシックな金融サービスを作っていくということです。  
すなわち、マネックスの利用者全員の意思を最高の理念、最大の方針として、マネックスは歩んでいきます。

of the people、 by the people、 for the people

リンカーンの唱えた民主主義の原点のような、そんな会社、マネックスを是非応援して下さい。」

お客様に対するメッセージとして掲載したこの文言は、個人投資家の利益を考える業務運営を第一とする当社の企業姿勢を表しており、近時の「顧客本位の業務運営に関する原則」の基本理念にも通じるものとなっています。

上記文言のみならず、当社は、具体的な取り組みとして、以下をはじめとした、個人投資家の利益を考えた商品・サービスを率先して数多く導入・提供してまいりました。

- ・販売手数料無料（ノーロード）の投資信託
- ・信託報酬率（税抜）が1%以下の投資信託
- ・個人向け投資一任運用サービス世界最大手である米国運用会社ザ・バンガード・グループ・インクの知見やノウハウを活用したマネックス・セゾン・バンガード投資顧問株式会社による投資一任運用（ラップ）サービス「マネラップ（MSV LIFE）」  
（いずれも、国内公募株式投資信託）

以上の当社の成り立ち・歴史を踏まえ、近時の「顧客本位の業務運営に関する原則」の採択にあわせて、この度改めて当社の「お客様本位の業務運営に関する方針」を策定し、ここに宣言することとしました。

## お客様本位の業務運営に関する方針

### 【お客様本位の業務運営に関する方針の策定・公表につきまして】

当社は、お客様本位の業務運営に関する方針（以下「本方針」と言います。）をここで明らかにするとともに、当社ウェブサイト上でお客様にわかりやすい形で公表します。本方針については、外部環境・内部環境の変化に応じ、最低限年に一度を目途として、定期・不定期に見直してまいります。

当社は、本方針の遵守状況を確認するため、その遵守に関する重要業績評価指標（Key Performance Indicator（以下「KPI」と言います。))を設定します。KPIに関しては、お客様から頂戴するご意見・ご要望、アンケート調査によるお客様の満足度などを基にお客様本位の業務運営が実現できているかを把握できるものとし、取組状況の一環として公表すると共に、KPIを改善する「PDCA サイクル」を回し機能させることでお客様本位の業務運営を向上させてまいります。

※「PDCA サイクル」とは「Plan（計画）・Do（実行）・Check（検証）・Action（改善）」の頭文字をとり、このサイクルを回すことで、常に問題点を改善しながら業務をすすめる手法です。

### 【お客様の最善の利益の追求につきまして】

当社は、お客様の最善の利益を図ることを目的としてその業務を運営します。当社は、インターネット証券として、金融商品の取引機会・情報等について、多くの選択肢（機会）を提供し、その結果、お客様ご自身のご判断で最善の利益を得るための選択が可能となり、それがお客様の最善の利益につながると考えます。

当社は、お客様の最善の利益を実現するために、当社の利益を中心に考えず、お客様中心の企業文化となるよう、不断に企業統治・業務運営を見直します。

### 【お客様との利益相反の適切な管理につきまして】

当社は、投資信託・債券等の個別の金融商品の選定・販売開始時において、お客様との利益相反の可能性を正確に把握し、利益相反の可能性がある場合には、お客様に正確な情報を開示するなどして適切に管理します。

### 【手数料等の明確化につきまして】

当社は、手数料その他名称の如何を問わず、お客様にご負担いただく費用（以下「手数料等」と言います。）について、手数料等が、当社が提供するどのようなサービスの対価なのか、お客様がご理解できるよう当社ウェブサイト上、またはコールセンター担当者によって、わかりやすくご説明した上で、サービスを提供します。手数料等については、当初購

入時の費用のみならず、金融商品を保有する期間に応じてお客様にご負担いただく費用もあることを、お客様にとってわかりやすい言葉で説明します。

**【お客様の立場に立った、重要な情報のわかりやすい提供につきまして】**

当社は、金融商品を初めて購入されるお客様であっても、お客様が購入される金融商品のリスクと、リスクを取ることによって得られるリターンを、十分にご理解いただけるよう、当社ウェブサイト上、またはコールセンター担当者により、わかりやすい表現で説明します。リスクの高さや複雑さなど、金融商品の性質にあわせて、お客様が投資の判断をするために、何が重要であり理解しておかなければいけない点かを、お客様の立場に立って、お客様目線の言葉や表現で説明します。

**【お客様にふさわしいサービスの提供につきまして】**

当社は、現在当社がお客様に提供している金融商品・サービスを、より高度な使い勝手の良いものに改善し続けることにより、適合性の原則に基づいた、お客様のライフステージ、資産状況、リスク選好に応じた最適な選択肢を提供します。

具体的には、

- ・お客様一人一人のご要望にお応えできる金融商品ラインアップの充実
  - ・お客様のリスク許容度・投資スタイルに応じた、幅広い金融商品のラインアップの充実
  - ・少額の投資信託積立、株式投資等、投資を初めて行うお客様が取り組みやすい、リスクを抑えた少額投資が可能な金融商品のラインアップの充実
- 等に取り組みます。

**【当社役職員に対する適切な動機づけの枠組み等につきまして】**

当社は、「企業理念」「倫理コード」の社内への徹底によりお客様本位の行動・判断の実現を図ると共に、各種研修により金融商品・IT技術・規制対応等への知識・スキルの恒常的な強化を行うものとします。役職員の報酬・評価体系については、単なる数値目標の達成のみに基づいて行うこととせず、本方針の達成・遵守のための行動も、十分に勘案したものとします。

2017年6月22日

マネックス証券株式会社  
代表取締役社長 勝屋 敏彦